

社会福祉法人 宰府福祉会 ～一人ひとりを大切に～

2022. 7

31号

社会福祉法人 宰府福祉会
<http://saifu-fukushikai.com>

法人本部事務局

福岡県太宰府市大佐野761-1

発行責任者：草本武俊

編集委員会

わかたけ



児童発達支援センター すみれ園

目次

2ページ 令和3年度法人の主な実施事業と決算 / 3・4ページ 宰府福祉会ってこんなところ！
5・6ページ コミュニティインフォメーション（地域情報）、トピックス

○令和3年度 法人の主な実施事業と決算

令和3年度の法人事業運営は、最終年度となる第二次中期経営計画を、その基本方針及び重点目標の達成を目指して、法人本部及び各拠点施設がそれぞれの地域の中で取組みを進めてきました。

利用者ご家族をはじめ多くの皆様のご協力によって、なんとか推進することができました。次年度もコロナ禍の厳しい状況が予測できますが不断なく事業の推進に努めてまいります。

利用者サービス

「相談・説明・連絡等のコミュニケーションに関するアンケート調査」を実施しました。



その結果を受け、改善に向けて利用者サービスの質の向上に努めていきます。



職場環境の改善

同一労働と同一賃金等の法改正への対応等のため、就業規則及び給与規程、人事等の見直しを実施しました。



施設整備

入所支援や地域生活支援の充実を図るための施設整備については、土地開発工事の遅れにより「アクティビティセンターコミュニティホールさいふ」の完成及び、「地域生活支援センター」の整備が遅れています。



人材確保

県社協の「福祉のしごと就職フェア」「WEB面談会」、その他のWEB説明会や大学・専門学校等の巡回求人を実施しました。



各拠点共に充分とは言えませんが職員配置の確保をすることができました。



コロナ感染症対策

各拠点ともに利用者や職員の感染が判明しましたが、「非常事態体制本部」の準備及び設置を繰り返しながら、感染防止に努めてきました。



各拠点事業の稼働率は、「すみれ園」「にじ」「宰府園」の通所がコロナ感染による休園のために減少しました。「宰府園」の入所がコロナ感染防止のため、一時期制限していたため、利用定員の充足率は減少しました。



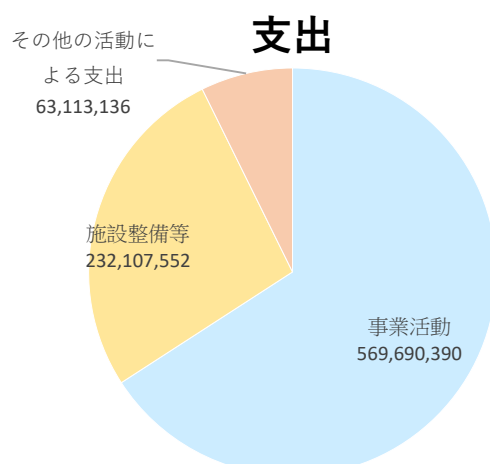
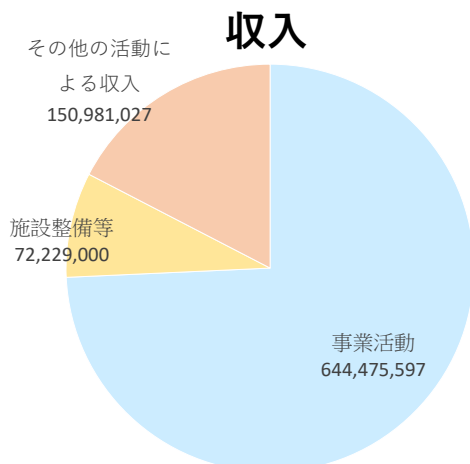
経営状況

経営状況については、事業の稼働率や定員の充足率の減少のため、障害者自立支援費等収入は昨年に比べ減収となっています。人件費、事業費、事務費の費用合計は増額となりました。



令和3年度 宰府福祉会 決算

(単位：円)



宰府福祉会って、こんなところ！

ライフステージに応じた法人内サービスをシリーズでお伝えしています。

幼児期～学齢期
(～18歳)

成人期 (18歳～)

●児童サービス



- 【児童発達支援】 すみれ園
- 【保育所等訪問】 すみれ園
- 【受託事業】 にじのキッズ
(那珂川市療育センター)
- 【放課後デイ】
すみれ園 たんぼぼルーム
- 【受託事業】
つくしんぼルーム
(太宰府特別支援学校
放課後等支援事業)
- 【受託事業】
障害児等療育支援事業
(福岡県受託事業)

住む

●居住系サービス

- 【施設入所支援】 宰府園
- 【グループホーム】 GHやまもも・アンダンテ・春日ホーム
- 【短期入所】 宰府園・GHやまもも

働く

●就労系サービス

- 【就労継続B型】 宰府園・やまもも・ゆり工房 (受託)
- 【福祉的一般就労】 さぽーと春日

活動

●日中活動系サービス

- 【生活介護】 宰府園・やまもも・ゆり工房 (受託) ・にじ (受託)
- 【日中一時】 宰府園・やまもも・ゆり工房 (受託)

訓練

●訓練系サービス

- 【就労移行】 ゆり工房 (受託)
- 【自立訓練】 にじ (受託)

計画
相談

●相談系サービス

- 【計画相談・障がい児相談】
やまもも・すみれ園相談支援センター

訪問

●訪問系サービス

- 【居宅介護・同行援護・移動支援】 宰府園在宅サービス

第5回 「日中活動系サービス (生活介護事業)」

成人期 (18歳～)

活動

生活介護事業とは

介護を必要とする障がいのある方に対して、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、排泄及び食事等の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供などを適切かつ効果的に行う事業です。
事業所によって、特色がありますので、今回はその紹介をします。



宰府園

宰府園では園芸や運動、レクリエーション、リラックス活動、音楽活動など、楽しみながら主体的に参加できるような活動を行っています。

様々な活動や日常生活での役割、仲間たちとの関わりのなかで、一人ひとりの出来ること、生きる力を引き出し、その人らしい豊かな生活が広がるように支援しています。



やまもも

やまももでは、ご本人の個性やペースに合わせて活動していただくため、2グループに分かれています。Aグループでは、下請けで食材の配送に使うシートを拭き上げる作業や、街頭で配布されるチラシとサンプルの封入等に取り組んでいます。作業ばかりにならないように、週に1回のリフレッシュ活動や、能力の維持向上を目的とした学習活動にも取り組んでいます。

Bグループは、Aグループと同様に作業に取り組みつつ、季節に応じた飾りの創作、園芸などに取り組みながら、情緒の安定や生活の幅を広げることを目的として、活動を行っています。



ゆり工房

ゆり工房では、午前中は各部門(パン・木工・ゆめ)の作業に取り組み、午後からは生活の質の向上に向けた活動を行っています。健康づくりや調理実習、マナー講座など様々な活動を行うなかで、創作活動では季節に合わせた掲示物を作っています。福祉ぱれっと館の入口に掲示していますので、是非ご覧ください。



にじ

にじでは、食事や入浴、トイレ等の生活面をサポートしながら、利用者さんが1日を楽しく過ごせる場として、創作活動や園芸等に取り組んでいます。また、幅広い年齢の方に合わせた機能維持活動も行っています。特に、園芸に力を入れており、野菜が育つ過程を観察しながら草取りや水やりを行い、収穫を楽しんでいます。収穫した野菜を持ち帰り、ご家族と一緒に食べて「おいしかった～」と利用者さんにもご家族にも喜ばれています。

実践報告

就労支援事業 さぼーと春日

障がい者や高齢者等の就労支援

「さぼーと春日」は、障がいのある方や高齢者等の就労支援のため、平成20年に法人の公益事業として立ち上げた事業です。障がい福祉サービスではなく、一般雇用の場となっています。

現在、春日市の公共施設(「福祉ぱれっと館」「いきいきプラザ」「男女参画・消費生活センターじよなさん」など)やその他施設の清掃業務、「福祉ぱれっと館内の喫茶オルゴール」の販売・接客業務を請け負っています。

働きやすいように工夫する

清掃業務といっても、障がいのある方や高齢者にとって、簡単にできる仕事ではありません。人それぞれに特性があり、一人前に働くことのできるように、基本的労働習慣の練習や雑巾の絞り方から特殊清掃(ワックス清掃など)のやり方など、道具の工夫から清掃方法の工夫など、本人に合った方法を一緒に考えながら支援しています。時には現場の職員と連携しながら、情報交換なども行っています。

体験実習受け入れや外部講師

その他にも就労を目指している障がいのある方や高齢者等に向けて体験実習の受け入れや、特別支援学校の外部講師として清掃業務の講義を行ったり、進路の相談等も受けたりしています。

現在は、障がい者雇用も充実し、「重度障害者多数雇用事業所」の認定を受け、日々汗水流して、がんばっています。地域の皆様と接する機会も多いので、出会ったときは、「ご声援」よろしくお願いいたします。(担当者 古賀 信義)





「自治会と草取り交流しました」

5月19日、「ひまわり台」(太宰府市)自治会と「草取り交流」をしました。

幸府園の通所メンバー(就労B)10名がひまわり台区内にある公園の草取りをしました。草取りにあたっては、かねてから他の自治会を含め、「幸府園ではみなさまのお手伝いをします。」と呼びかけを行っていたところ、ひまわり台(平田会長様)より「じゃあ、うちの草取りをお願いします。」と依頼されたのが始まりです。草取りのあとは、ご厚意で手作りホットサンドをいただきました。作業のあとの食事はおいしい。草取り前は、イメージがつかず「行きたくない」と言っていた利用者も「来てよかった。草を取って気持ちいい」と感想も聞かれました。次回は秋を予定しています。これを機に他の地域住民の方々たちと有意義な交流を深めていきたいと思えます。



「徳洲会病院より定期注文いただきます」



地域の拠点病院である「徳洲会病院」(春日市)より職員1,600名に向けて、「ゆり工房」と「幸府園」の商品を定期販売(=注文票による受注)することになりました。筑紫地区に暮らす私たちにとって「徳洲会病院」は救急や検査などでお世話になる身近な存在です。利用者とともに通院することはあっても、そこで働く職員のみなさんに向けて販売することなど思ってもみませんでした。今回、「徳洲会病院」(総務課)からの呼びかけで実現した販売。今後も「ゆり工房」のお菓子や「幸府園」の木工作品を中心に販売させていただくことになりました。初回売れ行き(7月7日)は好調、新たな販路開拓とともに、拠点病院とこんな形で交流できるようになったことをうれしく思っています。

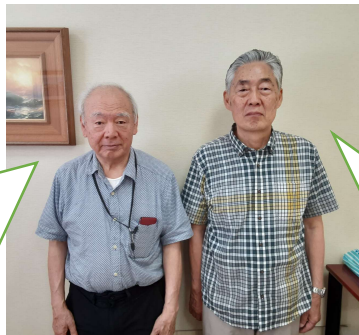


『夜勤サポーター』誕生



「宰府園」は入所施設もありますので、当然、夜勤があります。夜勤専属のスタッフががんばっていますが、人手不足は否めません。そんな時、近くの自治会に「夜勤パートしませんか」と呼びかけをしました。ありがたいことに複数名の方のご希望があり、7月から「宰府園」職員として、17時～0時までの間、支援や介助をサポートしてくれています。

この地域に宰府園が開設してから45年。地域の方々に支えられていることを実感しています。



小柳さん 山本さん

地域の中に「宰府園」という施設があるのは知っていましたが、「何をしているのか」「どういう生活をしているのか」知りませんでした。少しでもお役に立ててうれしく思います。

長く続けられるようがんばります！

小柳さんと同じ自治会に住む山本です。

昔、この仕事に興味があって、ヘルパー資格を取りました。この年齢になって“念願の仕事”ができるとは思っていませんでした。

趣味の山登りで健康を維持しがんばります！



『宰府園 新作業棟が完成しました』

昨年度から「宰府園」に隣接する土地に新しい作業棟・多目的室(福祉避難所等)を建設していましたが、この度、完成いたしました。『アクティビティセンター・コミュニティホール さいふ』といいます。詳細については次号の「わかたけ」でご紹介します。どうぞ期待。



『編集後記』



みなさんはどんな時を「幸せ」を感じますか？

今、宰府園の軒下にツバメが巣作りをし、ヒナたちがもうすぐ巣立ちを迎えようとしています。私はこの光景を目にする度に、何とも言いようのない「幸福感」を味わいます。利用者さんや職員も同じように巣を見上げては、「がんばれ！もう少し」とエールを送っています。

ほんのささいな日常の一コマですが、「幸せ」は私たちの日常の中、至る所にあって、強いて言えば、日常そのものが「幸せ」なんだと思います。良いことも悪いことも含め、1日を無事終えることができることは「幸せ」です。

昔から、諸先輩方に言われ続けてきたことですが、最近、私もようやくこのことに気づきました。コロナはもううんざりですが、コロナ禍の制限の多い生活ゆえに、気づくことが出来たといえます。「感謝」の気持ちをもって「幸せな日常生活」を過ごしていきたいものです。

広報委員長 大内田